

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	営みのための介護Ⅲ	担当者名	棟方 ナナ子
授業の概要	専門職として本人、家族に信頼される終末期支援について学ぶ。「死」の概念と多角的な視点を学ぶ。自らの死生観に向き合い気持ちの共有と共感を理解する。専門職として必要な知識・技術を身につける。				
科目の到達目標	・終末期についての知識・技術を習得する。 ・対象者に合わせた支援ができるようにする。				
DPの観点	②専門知識・技能 ④協働力 ⑤コミュニケーション能力 ⑦主体性				
授業時間外学修 (予習・復習)	テキストの習熟と専門用語を調べる。関係書籍を読む。予習・復習はそれぞれ1時間程度行うこと。				
フィードバックの 方法	課題レポート結果を返却する。				
単位認定の要件	指定期日までの課題提出を重視する。授業への取り組みや課題で定められた基準を満たすことが単位認定の要件となる。				
評価の方法・割合 (%)	課題レポート60% 授業内活動40%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			死の定義 「死」の定義について理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
2			終末期ケア 終末期の捉え方を理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
3			「死」の視点 専門職の視点を理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
4			ホスピスケア ホスピスについて理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
5			緩和ケア 緩和ケアについて理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
6			エンゼルケア エンゼルケアについて理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
7			グリーフケア グリーフケアの意義を理解する	② ⑤	コミュニケーションカード レポート課題
8			在宅ターミナルケア 在宅における終末期を理解する	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
9			終末期利用者とのコミュニケーション 専門職としてのコミュニケーション技術を理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
10			終末期利用者の心理的サポート 専門職としての心理的サポートを理解する	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
11			終末期家族への支援 専門職としての家族支援を理解する	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
12			利用者のQOLとQOD 専門職としてのQOL・QODを理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
13			他職種連携 チームケアの必要性を理解する	②④⑤⑦	コミュニケーションカード
14			喪失について 対象者の喪失を理解する	② ⑤	コミュニケーションカード
15			心理的支援(スピリチュアル) 宗教的支援を理解する	②④⑤⑦	コミュニケーションカード レポート課題
期末試験			試験		まとめと確認

使用テキスト	新介護福祉士養成講座第4巻「介護の基本Ⅱ」 第7巻「生活支援技術Ⅱ」 荘村明彦 中央法規
参考文献 参考URL	「死ぬ瞬間」キューブラーロス 中公文庫
備考	適宜資料配布

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性 ⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--